

# 戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 秋季大会

26年 9月 6日 時刻11:10～

男子 【準決勝】

寝屋川六	49	{	14-18 8-18 14-8 13-3	}	47	杉
------	----	---	-------------------------------	---	----	---

第1PD	寝屋川六④⑥⑦⑧⑬, 杉④⑥⑧⑭⑱でスタート。
寝屋川六はマンツーマン、杉は2-3のゾーンディフェンス。はじめは寝屋川六のシュートが決まりペースをつかんでいくが、ファウルが多く杉にフリースローを与える。杉はこのチャンスをしっかり決め、逆に杉がペースをつかみ14-18で1Q終了。	
第2PD	寝屋川六④⑧⑩⑬⑱, 杉④⑥⑧⑨⑭でスタート。
寝屋川六は杉の2-2-1ゾーンプレスにつかまり、ターンオーバーが続く。その間杉は得点を重ねていくが徐々に寝屋川六のディフェンスがよくなり、杉の流れを止めた。その後はお互いゆずらず、22-36で2Q終了。	

第3PD	寝屋川六④⑤⑦⑧⑩, 杉④⑥⑧⑨⑭でスタート。
杉⑥のインサイドが連続で決まり、パス回しでペースをつかもうとするが、寝屋川六がパスカットを続け、ペースをつかむ。杉はリバウンドもとることができず、無得点が続く。3Q終了間際、杉⑨⑭がシュートを決め3Q終了。	
第4PD	寝屋川六④⑤⑦⑩⑱, 杉④⑥⑨⑭⑱でスタート。
パスカット、シュートブロック、パスミスなど4分間で1得点とお互いシュートが決まらない状態が続いていたが、寝屋川六④の3Pが決まり同点となる。その後、寝屋川六⑱のフリースローが2本決まるも、残り30秒で、杉⑭の3Pシュートの際に、寝屋川六④がファウルをし、杉⑭が落ち着いてフリースローを3本とも決め、杉が逆転する。残り4秒、寝屋川六のエンドボールから、寝屋川六⑩の3Pがブザービートで決まり49-47で、寝屋川六の逆転勝利で終わる。	
(戦評/田原中:池田)	

# 戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 秋季大会

26年 9月 6日 時刻11:10～

男子 【準決勝】

庭窪

58

13- 7  
14-14  
17- 9  
14-14

44

東香里

第1PD

庭窪④⑤⑦⑧⑨, 東香里④⑤⑥⑧⑨でスタート。

両チームともハーフマンツー。固さもあり中々点が決まらない。それでも庭窪は⑦を中心に攻め

得点を重ねていく。東香里は⑤のシュート・速攻・終了間際の3Pを決め食らいつく形で後半につなげる。

第2PD

庭窪④⑤⑦⑧⑨, 東香里④⑤⑥⑧⑨でスタート。

ディフェンスは引き続きハーフマンツー。庭窪は⑦のドライブ・速攻等で一時ペースをにぎる。

東香里は⑤のシュート、また⑥のシュートが決まりだし一点差までつめよるが、庭窪のスティール、

⑦の3Pを許し再び点差があく。前半27-21で終了。

第3PD

庭窪④⑤⑦⑨⑩, 東香里④⑤⑥⑧⑨でスタート。

ディフェンスは変わらない。3PD開始直後から庭窪は④⑦を中心に得点を重ね流れを引きよせる。

ターンオーバーからの速攻も決まり44-30で3PD終了。

第4PD

庭窪④⑤⑥⑧⑩, 東香里④⑤⑥⑧⑨でスタート。

東香里は序盤から3クォーターで仕掛けるなどディフェンスに変化をつけ、流れを変えたいが、

庭窪は④を中心としたアウトサイドのシュートが決まり点差を縮めることができず、58-44で

庭窪が勝利した。

(戦評／四条畷中:太田)

# 戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 秋季大会

26年 9月 6日 時刻14:30～

男子 【決勝】

寝屋川六 66 [ 13-21  
19-10  
19-22  
15-20 ] 73 庭窪

第1PD

寝屋川六④⑤⑥⑦⑧, 庭窪④⑤⑦⑧⑨でスタート。

両チームともハーフコートマンツースタート。開始後、庭窪⑦がミドルシュートを3連続で決める。

一方寝屋川六はドライブを止められるも3Pで反撃。ドライブとあわせが上手いっていた庭窪が

9点リードで1PD終了。

第2PD

寝屋川六④⑤⑦⑧⑩, 庭窪④⑥⑦⑨⑩でスタート。

庭窪は④のドライブからの合わせや⑦の3Pなどで点数をつみ重ねていく。寝屋川六は⑩が

DEFリバウンドを懸命に拾うがペイントエリアでのプレイが上手いかない。しかし、寝屋川六は⑧の3P、

ブレイク、⑧のオフェンスリバウンドからのゴール下と立て続けに得点し、32-31と逆転して終了。

第3PD

寝屋川六④⑤⑦⑧⑩, 庭窪④⑤⑦⑨⑩でスタート。

庭窪はオールコート2-2-1からの2-3のゾーンディフェンス。寝屋川六はハーフマンツースタート。

寝屋川六は庭窪のゾーンを攻めきれないものの、④⑦⑧の3Pで庭窪との差をうめようとする。

その間庭窪は⑦の3P、⑥のドライブなど得点を重ね、庭窪リードで3PD終了。

第4PD

寝屋川六④⑤⑥⑦⑩, 庭窪④⑤⑥⑦⑧でスタート。

寝屋川六はファウルトラブルで④がファールアウト。ディフェンスは2-1-2のゾーンディフェンスを

しき庭窪が攻めあぐねる。その間に寝屋川六の⑤⑥⑧のミドルで追い上げるも、つめきれない。

残り1分を切ったからは両チームともオールコートでプレッシャーをかけるが庭窪が73-66で逃げ切り、

見事優勝した。

(戦評／はずはな中:奥村)